

水稻生産者の皆さまへ

水稻病害虫被害を防ぐための重要なお知らせ

～「豆つぶ剤」で確実な対策を！～

■ 昨今の状況

三重県内では、近年不稔を引き起こすカメムシが毎年発生しています。昨年7月11日には、三重県病害虫防除所より（令和7年度病害虫発生予察注意報第2号）斑点米カメムシの注意報が発表されています。気象庁の向こう3か月予報では7月の気温が平年より高い可能性が60%となっており、本年もカメムシの活動が活発になる見込みです。

■ 病害虫の紹介

カメムシによる被害

不稔カメムシ：出穂期に加害することで、不稔籾（中身のない籾）を引き起こす。
斑点米カメムシ：稲の穂を吸汁し、玄米に黒い斑点が現れ、品質が大きく低下する。
上記は、不稔による減収、食味や等級にも影響を及ぼし、結果的に収入減少につながります。また、**発生時期が異なるため2回の防除を推奨**します。下記によく見る緑色のカメムシ以外の代表的なカメムシの写真を掲載。（散布時期は裏面へ記載）



左:イネカメムシ成虫 右:幼虫（不稔カメムシ）

左:クモヘリカメムシ, 右:ホソハリカメムシ
(斑点米カメムシ)

葉・穂いもち病、紋枯病による被害

曇天や長雨が続く場合、下記写真のような病害が発生しやすくなります。発生した場合、収量減に直接影響を及ぼすので予防的防除をおすすめします。



左から、いもち病(本田), 葉いもち, 穂いもち

紋枯病による被害



左から、
紋枯病(本田),
紋枯病(葉),
紋枯病(菌核)

